

世界的テーマパークのライト制御など、特殊な電子制御装置の設計、製造技術を有す

同社は、電機、電子を活かした「ものづくり」で45年以上の知見を有している。制御・計測機器の開発・設計・製作をベースに、現在は車輛突破防止装置「ONI」、熱伝導率測定装置、スピードメーターなど自社開発商品や、電機、電子を活かした制御盤、各種ユニットの設計委託から製造委託に至るまで「ものづくり」をキーワードに日々挑戦と進化を続けている。特筆すべき事項としては、熱伝導率測定装置（GHP法）に関しては日本国内において、同社しか製作できないオンリーワン技術を有しており、特定検査機関の標準機としても採用されている。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 神奈川県横浜市保土ヶ谷区仏向町937-2 | ● 設立 | 1970年 |
| ● 電話／FAX | 045-334-0681／045-335-3934 | ● 資本金 | 1,000万円 |
| ● URL | http://www.y-denshi.com/ | ● 従業員数 | 8人 |
| ● 代表者 | 代表取締役社長 神田 一弘 | | |



需要獲得

高度かつ特殊な電子制御装置製造でオリンピックにも貢献

世界的テーマパークの照明ライトの制御、大規模な天文分野の制御基板、装置など、独自技術で高度かつ特殊な電子制御装置の設計、製造技術を有している。また、東京五輪・パラリンピック向けに放送用ブレーカーボックスを開発（2017年2月10日、日刊工業新聞記事掲載）したところ、移動中継車や映像基地局などの車載向けとして需要を獲得することに成功している。これまで積み上げてきた技術を核として、高い信用を既存顧客から獲得し、課題解決のための要望に応えられるよう、提案や開発を行っている。



高度な電子制御装置でオリンピックに貢献

「横浜IoT協同組合」を組織し、代表理事として全体を取りまとめ

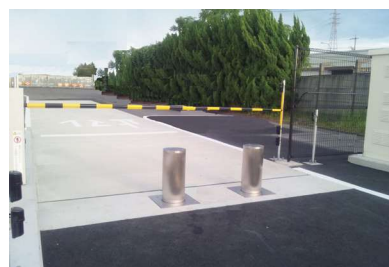
同社社長が、神奈川県中小企業家同友会 川崎支部副支部長であることもあり組織づくりを学んでいる。補助金採択企業の集まりから、「横浜IoT協議会」を発足「横浜IoT協同組合」を設立、理事長として取りまとめを行っている。地元地域の多くの企業でIoTを活用できるようになり、異業種における相互連携の機会を増やすことなどを目標に活動している。それぞれの分野で特色を有するIT企業5社とモノづくり企業3社からスタートし、各社の強みを生かし、共同受注など受注範囲の拡大及び受注量の拡大を図ることを目指している。



「横浜IoT協同組合」を組織し、理事長に

テロ対策、治安維持分野、防災分野での貢献

同社が開発した車両突破防止装置（ライジングボラード）は国内シェアトップクラス、不法な車の進入を防ぎ過激なテロ行為の阻止効果があり、某大手自動車メーカーに相当数の採用実績がある。2018年にはイタリアの入退場管理制御システム大手FAAC（ボローニャ県）と日本国内での販売契約を締結した。FAAC商品は中東地域の米国関連施設や欧州文化施設等に数多く設置され、テロ対策、治安維持分野での海外需要は世界トップクラスのメーカーである。横浜電子（株）は防災分野でも津波や浸水災害に効果がある完全防水筐体を開発し全国25箇所の海岸昇降検知センター登録検潮場のうち13箇所の検潮場に設置している。



テロ対策、治安維持分野、防災分野での貢献

ものづくり